

今月のメッセージ

「ホントに、ふしから芽が出るの？」



教祖は、よく「ふしから芽が出る」と言われました。これは、世間の言葉かと思っ
てネットで調べたら「天理教の言葉」でした。そう
ですね。普通は枝や幹、根または種から芽が出
る、でしょう。

ふしは枝打ちした所を年輪が巻いたもので、
木材を削ってふしが出たら値打ちがガクンと下
がります。固くて工作しにくく、枝を強く曲げ
たらふしから折れます。余り良いイメージでは
ありません。

しかし、ふしは区切りともなり、人生

の大切な区切り目、節目をどう活かすかは誰
にとっても重要な課題です。そして「ふしから
芽が出る」ようにするには、心の素直さと努力
が必要になります。

そこで教祖は、人生のどんな出来事にもその
人の心を成長させ、心から喜べる姿に導こう
とされる親神様の「てびき」の要素が必ず入
っている、と教えて下さいました。考えてみ
たら、ふしは元々そこから希望の芽が吹いた
という証しでもあります。(吉田)

立教一八六年 二月号 (二月二十三日発行)

岡大教会連絡報

岡大教会ホームページ



oka.or.jp

発行所
高市郡明日香村岡 395
〒634-0111

天理教岡大教会

電話 (0744)54-2002
FAX (0744)54-3889
E-mail info@oka.or.jp
186.1.23 / 048

TOPIC

立教186年を迎え、いよいよ教祖百四十年祭に向かう年祭活動三年千日が始まる。昨年10月26日に真柱様のご発表くださった『論達第4号』を基に、翌月23日には大教会で「本部巡教」を開催。全教の教祖年祭へ向けた機運が高まる中、大教



全教会一斉巡教に向けて「研修会」を開催

会では1月から始まっている「全教会一斉巡教」への最終準備として、12月24日に「巡教員研修会」を実施した。「研修会」には、巡教員に選任された12名の大教会役員が参加。「一斉巡教」の趣旨目的を確認し、心得や部内教会への働きかけ、講話の内容などをねりあった。研修終了後には、大教会長様から一人ひとりに辞令を交付。場所を神殿参拝場に移し、大教会長様を芯に、一手一つにお願



R186 Event Information

大教会の諸活動

▼月定例行事▲

- 4日 岡心勇隊佐賀地区
- 6日 大教会ひのきしん (岡谷・眞世・南洲)
- 8日 岡心勇隊奈良中和
- 9日 岡心勇隊五條橋本 (あやの台)
- 13日 岡心勇隊八幡地区
- 15日 大教会ひのきしん (道弘)
- 18日 岡心勇隊大阪地区
- 21日 大教会ひのきしん (相嘉)
- 22日 祭典準備ひのきしん
- 大教会ひのきしん (表野・飛鳥川・岡秋)
- 大教会役員会議
- 22~23日 婦人会伏せ込みひのきしん
- 23日 大教会月次祭
- 23~26日 婦人会話所ひのきしん
- 24日 大教会ひのきしん (東松浦・西北)
- 25日 話所ひのきしん日
- 26日 本部月次祭
- 30日 岡心勇隊姪浜会場
- 第一日曜日 おぢば伏せ込み団参 (午前中)

▼その他の行事予定▲

- 2月
- 1~28日 教祖140年祭全教会一斉巡教
- ※5月にかけて実施
- 24日 おつとめ勉強会

- 3月
- 3日 教祖140年祭全教会一斉巡教
- ※5月にかけて実施
- 10日 松ヶ江創立100周年記念祭
- 24日 大教会春季霊祭
- 27日 岡学担「春学」関連行事
- 30日 少年会岡団総会
- 30~4/1 教会子弟練成会

大教会霊祭の日
日にちが変わります

春季霊祭 / 3月24日
秋季霊祭 / 9月24日

これまで3月5日と9月5日に勤められていた大教会の霊祭が、どちらも24日に変更となりました。

教務報

- ◆本部人事 (11月25日付)
- ・青年会部属分会委員長変更
- 南 洲分会 森井 要
- 松ヶ江分会 内田 啓太
- ◆大教会人事 (12月23日付)
- ・大教会詰員
- 西 北 森川 稔之
- 南 洲 森井 要
- 大和二見 松本 直美
- ◆教養掛
- 2月 表野 蓮池 弘之
- 3月 岡谷 森井 正次
- ◆教人登録 (12月24日付)
- 南阿太 芝田 勝則
- ◆別席願 (11月16日~1月15日受付分)
- 須 光 木佐木 泉美
- 白石町 福島 彩乃
- 西 北 佐藤 愛
- 表 田 関本 大成
- 岡 吉田 英明
- ◆おさづけの理拝戴願 (12月15日~1月15日受付分)
- 西北 林 輝久



書初めに思いを込めて！



立教186年の新春を迎えた大教会では、元旦祭を勤めた後、全員で書初めをしました。したためられた文字は、やはり教祖年祭に向かう決意ばかり。年祭活動1年目にむけて、その文字に抱負や決意を込めました。

少年会岡団よりお知らせ

立教186年 「少年会岡団総会」

日程／3月30日(木)
会場／岡大教会

今年も、宿泊無しで開催させていただきます。「その信仰を受け継ぎ、親から子、子から孫へと引き継いでいく一歩一歩の積み重ねが、末代へと続く道となるのである」(『論達第4号』)。皆様のご参加をお待ちしています。

毎日心一つにお願いづとめ



教祖140年祭に向かう年祭活動の一つとして、大教会で始められた「お願いづとめ」。心一つに、教祖が世界だすけに出られた午後2時に教祖を礼拝し、その後お願いづとめを勤めている。

身も心も温まる「お節会」



お正月の風物詩のご本部「お節会」。3年ぶりの開催となった今年も、1月5日から7日までの三日間開催されました。さまざまな制限が設けられる中でしたが、久しぶりのご本部のお雑煮に、身も心も温まりました。

ぜひ、友達登録してください！

天理教岡大教会
LINE 公式アカウント

様々な情報を配信します。
ぜひ友達登録してください！



▲丁寧に餅を丸める少年会員(写真左)と、勢よく餅を搗く青年会員のメンバーら(写真右)。

大教会

一手一つに真心込めてお餅つき 老いも若きも賑やかに熱気ムンムン

年の瀬迫る12月27日は、ご本部の元旦祭に御供する鏡餅をつく日。毎年、関西の教友が中心となって進められているが、今回は「息子に大教会のお餅つきを経験させたい」と、上橋分教会の藤本健二会長と天道くん(18歳)が佐賀県から参加した。新型コロナウイルスの影響から、2度中止となっていたご本部のお節会。立教186年は開催されるのが決まり、大教会としても久しぶりに本格的なお餅つきとなった。

ご本部へ御供されたのは、一つの大きさが6升の鏡餅で、合計9個。青年会を中心とした若手が一つひとつ丁寧に搗き、壮年層の教会長が職人顔負けのやさばきで形を整える。また、大教会からご近所の方々へ配る小餅は、少年会員の子どもたちが担当。食べて下さる方の顔を思い浮かべながら、心を込めて丸め、ご本部お節会の案内を添えてお届けした。

高校ラグビーの聖地「花園」で躍動！ フィールドの上で見た父の背中が偉大だった



高校2年生から、強豪大阪桐蔭高校ラグビー部のレギュラーとして活躍する芝田憲真くん(南阿太)。年末年始に開催された「第102回全国高校ラグビー大会」では、3試合で2トライを上げ、チームのベスト8に貢献した。

今回の結果には「全然満足していない」としながらも、「後悔はなく、楽しくプレーできた」と振り返る憲真くん。そして、34年前の同大会で準優勝の記録を残した父・英之さんの存在を挙げ、「同じフィールドに立っ



て、父の偉大さを実感した。進学する大学ラグビーで結果を残し、父を越えたい」と意気込む。

なお、今大会の憲真くんを取り巻く素敵なヒストリーが、YouTubeチャンネル「MBS全国高校ラグビー」で紹介されている。内容は「世代を超えた絆」。YouTubeで「ドラマを超えたノンフィクション」と検索するか、右記のQRコードからご覧いただけます。

